

都市再生整備計画事後評価シート

大谷地区

令和6年3月

栃木県小山市

様式2-1 評価結果のまとめ

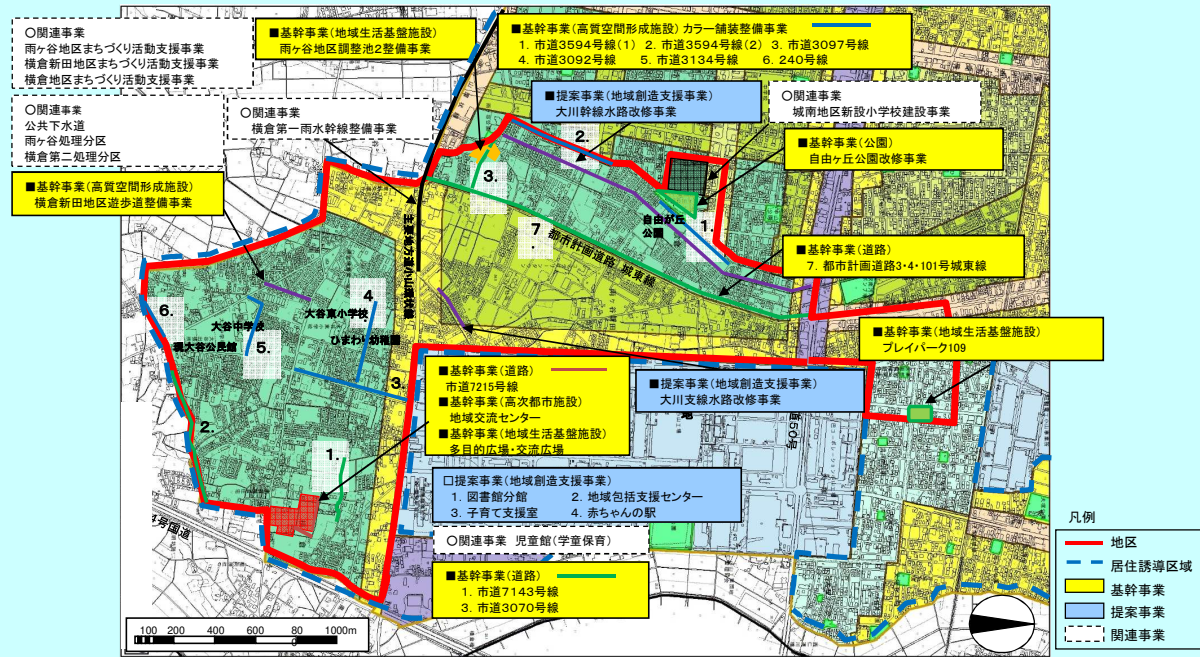
都道府県名	栃木県		市町村名	小山市		地区名	大谷地区		面積	290ha		
交付期間	平成30年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	3,796.2	国費率	0.443			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道239号線、市道7143号線、市道240号線、市道3070号線、横倉地内道路1、横倉地内道路2) 地域生活基盤施設(雨ヶ谷地区調整池1整備事業、雨ヶ谷地区調整池2整備事業、多目的広場・交流広場) 高質空間形成施設(横倉新田地区遊歩道整備事業) 高次都市施設(地域交流センター)									
		提案事業	図書館分館、地域包括支援センター、子育て支援室、赤ちゃんの駅 大川幹線水路改修事業									
	事業名											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市道239号線、市道240号線、横倉地内道路1、横倉地内道路2) 地域生活基盤施設(雨ヶ谷地区調整池1整備事業)			用地交渉や事業計画策定の難航等により、計画期間内に事業完了が見込めないため事業を削除			指標3「水たまりの発生や浸水の危険性に対する満足度」目標値を65.4%から64.5%に変更			
		提案事業	-			-			-			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(都市計画道路3・4・101号城東線)			事業の進捗を図るために追加			なし			
		基幹事業	道路(市道7215号線)			地域交流センター周辺の道路環境整備のために事業を追加			なし			
		基幹事業	公園(自由ヶ丘公園)			市の公園バリアフリー化計画に基づいた該当箇所について、地元懇談会からも要望があったため、事業を追加			なし			
		基幹事業	地域生活基盤施設(プレイパーク109)			地域住民のコミュニティ活動の場となる広場を整備するため、事業を追加			なし			
基幹事業		高質空間形成施設(カラー舗装整備事業)			歩行者の安全性向上のため、事業を追加			なし				
提案事業		大川支線水路改修事業			排水機能の向上による大雨時の道路冠水・浸水被害の軽減を図るため、事業を追加			なし				
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		計画期間延長に伴い、目標年度を令和5年度に変更。						
	変更	平成30年度～令和5年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	拠点施設の利用者数	人	16,000	H28	37,000	R5	モニタリング	評価値	○	(交流センターが令和5年12末時点で未竣工のため、同種同規模施設である「桑市民交流センター」の利用者数で代用)	令和7年3月
	指標2	通学路や歩行者の安全性に対する満足度	%	47.6	H26	52.6	R5		47.4	△	都市計画道路3・4・101号 城東線が部分的整備となったこと、及び住宅開発に伴う交通量の増加や速度超過等の交通ルール違反の問題により、目標値を達成することができなかった。	令和7年3月
	指標3	水たまりの発生や浸水の危険性に対する満足度	%	60.4	H26	64.5	R5		58.6	△	近年激甚化する豪雨災害によって、市民の浸水等水害に対する危機意識が高まり、目標値を達成することができなかった。	令和7年3月

	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の 数値指標1	その他の 数値指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	プレイパーク109を活用し たイベント回数(2ヶ年)		回	-	-				18			整備直後から、地域住民の交流の場として 活用された。	-	
4)定性的な効果 発現状況	・プレイパーク109の整備とお試し活用事業の実施により、民間が主体となったイベントが活発に開催され、まちの賑わいに繋がった。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加 プロセス		プレイパーク109ワークショップ開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 検討協議会において今後の管理や活用の方法を話し合い、民間による管理運営体制の構築を検討する。			
			-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	持続的なまちづくり 体制の構築		小山市地区まちづくりの活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり関連活動の支援を継続する。			
			-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			

様式2-2 地区の概要

小山市中心拠点地区(栃木県小山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
目標① 複合機能を持つ交流拠点を活かして、多彩な市民活動を育むことで、地域コミュニティの活性化を図る。 目標② 交通環境の改善と防災性の向上により、安全で安心して、通行・通学・通勤できる交通ネットワークを創出するとともに、良好な住環境を形成する。	拠点施設の利用者数	単位:人	16,000 R28	37,000 R5	(37,414) R5
	通学路や歩行者の安全性に対する満足度	単位:%	47.6 H26	52.6 R5	47.4 R5
	水たまりの発生や浸水の危険性に対する満足度	単位:%	60.4 H26	64.5 R5	58.6 R5



まちの課題の変化 ・地域交流センターの適切な維持管理・運営体制の構築。 ・都市計画道路3・4・101号 城東線の整備進捗に伴い、増加傾向にある交通処理のため、それに連絡する周辺の幹線道路(都市計画道路 城南高校線、笹原線、西山線等)の整備に関する検討が求められつつある。	今後のまちづくりの方策(改善策を含む) ■地域交流センターやプレイパーク109において、民間活力を活かした管理・運営体制構築を検討する。 ■現在事業中の都市計画道路3・4・101号 城東線の進捗を図り、早期完成を目指す。 ■県道小山環状線や用排水路周辺において発生している道路冠水・宅地浸水被害を軽減し、安全・安心な住環境を形成するため、引き続き調整池や水路改修整備等による雨水排水対策を行う。
---	--